

## 釜焚きけん化法

大量生産の無添加石鹼や石鹼素地に使用される方法です。パフォーマンスとして良く製造者が石鹼の製造途中で石鹼を食べる事でいかにも良い石鹼のイメージになっています。油と苛性ソーダを合わせ高温で過熱・攪乱させ、けん化させます。けん化反応がすんだ石鹼に、「塩析」という方法を施すため、塩を加え加熱しグリセリンやその他の不鹼化物を取り除きます。この方法は無添加石けんの大量生産に向いていて、「純石けん98%」という表示になります。消費者には石鹼素地等その他は有効成分しか記載されていない為、非常に良い石鹼のイメージになっております。利点は溶け崩れの少ない固い石けんができ、外見が綺麗で見た目が良い石鹼ができる事です。大量生産の石鹼作りには向いています。しかし、問題は油を高温で加熱することにより、油を酸化させ、塩析を加えることによって必要以上のグリセリンやビタミン・ミネラルなどの不鹼化物が取り除かれてしまうという欠点があり、また、不鹼化物が取り除かれる事により、保湿力と洗い上がりが悪くなるので、新しい保湿成分(グリセリン・塩・グラニュー糖・アルコール等を添加する必要性がある為、本来のコールドプロセス製法の石鹼ではグリセリンがしっかり残り、必要以上の皮脂を取り除きませんので油脂本来の石鹼ができます。